

平成25年度
一般会計補正予算審査特別委員会報告

文教施設関連の
主な質疑応答

- 問** 教育費で6600万円の補正が上がっている。町民からはこれ以上増額は認めないという声を受けている。詳しい内訳とその根拠を聞きたい。
- 答** 2000万円は井戸の増堀で、27年度からの前倒し。変更は地中障害物の撤去工事で2889万円、除雪が1752万円。
- 問** 地中埋設物処理の具体的な数字を教えてください。
- 答** 掘削したら大きな遺構と大きな岩石が数多く出てきた。石の処理に多額の費用がかかる。碎石処理した上で、それを交換する。碎石処理するだけだと相当の額になる。
- 問** 除雪費用というのは最初の契約にある程度考えていたのではありませんか。想定外の除雪費か。
- 答** 厳しい工期の中での工事。工期の短縮、確保策として、2月から現場の除雪を実施して当初設計にない町の費用負担により前倒し

賛成多数

歳入歳出それぞれ
1億2,981万1,000円を追加して、
総額 **78億9,593万4,000円**

歳入の主なもの

- 地方交付税（普通交付税）
…… 1,031万8,000円増
- 国庫補助金（統合文教施設整備事業）
…… 7,546万5,000円増
- 繰入金（財政調整基金繰入金）
1億2,763万4,000円減
- 繰越金
1億6,297万1,000円増

歳出の主なもの

- 町有財産管理費
（中子町有地除染追加調査ほか）
…… 200万円増
- 三俣地域振興対策費
…… 1,085万円増
- 塵芥処理一般管理費
（不燃ごみ処理ほか）
…… 1,281万1,000円増
- 都市計画施設改良費（ゆやま荘土地建物購入、駐車場造成、工事設計ほか）
…… 2,705万円増
- 文教施設費（統合文教施設建設）
…… 6,642万3,000円増

〔賛成6、反対3〕

その他の主な質疑応答

- 問** 行政報告中の学校の森事業が、予算に上がっていないが。
- 答** 中学校の林を利用しながら進んでいく。実質的な予算は来年度から。
- 問** EV急速充電器は補助金を頂いての設置、条件付きなのか。また、三俣の道の駅の利用頻度はあるのか。
- 答** 国県としてもこれを普及させる目的がある。また、三俣地域からの要望もあり実施する。
- 問** 田中平沢線線道路残地、利用方法は。
- 答** 17号の歩道設置の代替地としてセブンスイレブンをから買っていた。だ。
- 問** クロスカントリーコース移転は、何かあったのか。
- 答** 貸せないという話が来た。中学校に戻そうということになった。
- 問** 環境衛生の印刷製本費増は。
- 答** たばこマナーに関する啓発用品に使う。後日細かい説明をした。



委員長
岸野雅人